

## 提案書評価基準

### 1 評価事項

提案書に対する評価項目や評価の視点等は別紙「提案書評価項目一覧」を参照。

### 2 評価方法

#### (1) 評価

各評価項目について、次のいずれかの評価を行う。

ア A、E の 2 段階評価

イ A、C、E の 3 段階評価

ウ A、B、C、D、E の 5 段階評価

#### (2) 評価点

評価を基に表 1 のように評価点を算出する。

表 1 評価点の算出

配点	評価点				
	A	B	C	D	E
200	200	160	120	80	40
100	100	80	60	40	20
100	100		60		20
50	50	40	30	20	10
50	50		30		10
30	30		20		10
30	30				10

### 3 提案者の選定方法及び受託候補者の特定方法

(1) 評価項目について、委員長及び副委員長を含む全ての評価委員が与えた合計点が最も高い者を受託候補者として特定します。

(2) 総合計点を比較してもなお、受託候補者を特定できない場合には、次の順序で受託候補者を特定します。

ア 「機能要件の実現」の合計点が上位の者

イ 「非機能要件の実現」の合計点が上位の者

ウ 「基本的事項」の合計点が上位の者

提案書評価基準

評価項目	記述内容（要求要件）	評価の着目点	配点	評価基準				
				A	B	C	D	E
1 基本的事項								
1.1 企業実績								
1.1.1 従業員数	従業員数及びプロジェクトメンバー以外に代替できる要員の有無を記載してください。	十分な従業員数があり、不慮の事故等の際のプロジェクト関係者の代替が可能なこと。	100	従業員数300名以上、かつプロジェクトメンバー以外の要員の代替が可能である。	/	従業員数300名未満、かつプロジェクトメンバー以外の要員の代替が可能である。	/	プロジェクトメンバー以外の要員の代替ができない。
1.1.2 本業務と同種・類似業務の事業実績	1万ユーザー以上が利用するモバイルアクセス環境（インターネット回線を使用し、自席以外の場所から業務環境にアクセスできる環境。イントラネットから外部インターネットへのセキュアなアクセス環境を含む。）について、企業又は自治体における運用期間の実績を記載してください。	企業又は自治体におけるモバイルアクセス環境の構築に関する十分な経験を有しているか（運用保守の実績期間は十分か）。上記がない場合、イントラネットから外部インターネットへのセキュアなアクセス環境の構築についても実績として評価することを可能とする。	100	モバイルアクセス環境：2年以上。または、内部から外部へのアクセス環境：3年以上	/	モバイルアクセス環境：1年以上。または、内部から外部へのアクセス環境：2年以上	/	モバイルアクセス環境：1年未満。または、内部から外部へのアクセス環境：2年未満
1.2 配置予定技術者の業務実績・経験等								
1.2.1 プロジェクト管理者	モバイルアクセス環境の構築及び運用保守のプロジェクトの実績・経験等を記載してください。	モバイルアクセス環境の構築及び運用保守プロジェクトの管理又はそれに準ずる経験があるか。	50	6年以上の構築及び運用保守の実績・経験等を有する。	/	3～5年の構築及び運用保守の実績・経験等を有する。	/	3年未満の構築及び運用保守の実績・経験等を有する。
1.2.2 チームリーダー	モバイルアクセス環境の構築及び運用保守の実績・経験等を記載してください。	・モバイルアクセス環境の構築及び運用保守に関する経験を有しているか。 ・チームリーダーとして十分な経験を有しているか。	50	5年以上の構築及び運用保守の実績・経験等を有する。	/	2～4年の構築及び運用保守の実績・経験等を有する。	/	2年未満の構築及び運用保守の実績・経験等を有する。
2 機能要件の実現								
2.1 要件一覧への適合								
2.1.1 必須項目の実現	別添の「機能要件一覧」の必須項目の機能を実現できるかどうか、別紙「機能要件対応表」に記載してください。	「機能要件対応表」の必須項目の機能を実現できるか。 【別紙に基づき評価】 機能実現が出来ない又は実現手法に課題があり、実用には問題がある場合は不合格。	-	/	/	/	/	/
2.1.2 任意項目の実現	別添の「機能要件一覧」の任意項目の機能を実現できるかどうか、別紙「機能要件対応表」に記載してください。	「機能要件対応表」の任意項目の機能を実現できるか。 【別紙に基づき評価】	250	/	/	/	/	/
2.2 アプリケーション								
2.2.1 システム概要	システムの構成や機能概要について、記載してください。また、システムの特長について記載してください。	概要であり、評価は以下の詳細で行うこととする。	-	/	/	/	/	/
2.2.2 利用者機能	(1) U I / U X（ユーザインターフェース／ユーザエクスペリエンス） 職員（利用者）がサービスを利用する上で、特別な研修等を受けなくとも直感的に操作できるデザインも含め、使いやすいU I（ユーザインターフェイス）の構築や、U X（ユーザエクスペリエンス）を高めるために配慮されている点があれば、記載してください。	職員（利用者）がサービスを利用する上で、デザインも含め、使いやすいU Iを構築していること。 例：アプリのメニューに統一感がある、自席での操作と同じ操作感で操作できる、庁内業務システムの画面やファイルのレイアウトが崩れない等。	100	デザインや使いやすさなど、U I / U Xが優れている。	AとCの中間に該当する場合	デザインや使いやすさなど、良い点がある。	CとEの中間に該当する場合	デザインや使いやすさなどが不十分である

提案書評価基準

評価項目	記述内容（要求要件）	評価の着目点	配点	評価基準				
				A	B	C	D	E
	(2) ユーザ認証 ユーザ認証について、2要素認証など、正当な権限をもったユーザによる利用を確保するための認証をどのように実現するか記載してください。自治体の認証基盤と連携している例があれば、それも記載してください。	正当な権限をもったユーザによる利用を確保しつつ、利便性も期待できる認証方法であること。	100	安全性の高い認証の実現性があり、利便性が期待できる。	AとCの中間に該当する場合	安全な認証と利便性がある程度期待できる。	CとEの中間に該当する場合	安全な認証の実現性が疑わしい。または、利便性が期待できない。
	(3) デバイス認証 デバイス認証について、正当な権限をもったデバイスによる利用を確保するための認証をどのように実現するか記載してください。自治体の認証基盤と連携している例があれば、それも記載してください。	正当な権限をもったデバイスによる利用を確保しつつ、利便性も期待できる認証方法であること。	100	安全性の高い認証の実現性があり、利便性が期待できる。	AとCの中間に該当する場合	安全な認証と利便性がある程度期待できる。	CとEの中間に該当する場合	安全な認証の実現性が疑わしい。または、利便性が期待できない。
2.2.3 管理者機能	(1) UI/UX（ユーザインターフェース／ユーザエクスペリエンス） 管理者がサービスを利用する上で、サイトのデザインも含め、使いやすいUI（ユーザインターフェース）の構築やUX（ユーザエクスペリエンス）を高めるために配慮されている点があれば、記載してください。	管理者がサービスを利用する上で、サービスを含め、使いやすいUIを構築していること。	100	デザインや使いやすさなど、UI/UXが優れている。	AとCの中間に該当する場合	デザインや使いやすさなど、良い点がある。	CとEの中間に該当する場合	デザインや使いやすさなどが不十分である
	(2) ユーザ管理 ユーザのアクセス権限を管理する方法を記載してください。	業務に必要な範囲でのアクセス権限の設定が行えること。	100	必要な管理の実現が期待できる。また、工夫されている。	AとCの中間に該当する場合	必要な管理の実現がある程度期待できる。	CとEの中間に該当する場合	具体的でなく、実現性が疑わしい。
	(3) 利用状況管理 過重労働や不正アクセスを防止するための利用状況管理の方法について記載してください。	過重労働や不正アクセスを防止するため、ユーザーやデバイスごとの利用状況が把握できること。	50	必要な管理の実現が期待できる。また、工夫されている。		必要な管理の実現がある程度期待できる。		具体的でなく、実現性が疑わしい。
2.2.4 庁内システム等との連携	(1) 本市のグループウェア及び職員ポータル上の主要なシステムなど、業務に必要な本市のシステム（住民情報系を除く）や、統合ファイルサーバの利用をどのように実現するか記載してください。また、具体的にどの機能が利用できるか記載してください。	本市のグループウェア及び職員ポータル上の主要なシステムなど、業務に必要な本市のシステム（住民情報系を除く）が利用できるか。また、ファイルサーバにアクセスして情報資産の閲覧、編集ができるか。	100	業務に必要なシステムや統合ファイルサーバとの連携について、実現性があり、工夫されている。	AとCの中間に該当する場合	業務に必要なシステムや統合ファイルサーバとの連携について、実現性はあるが、一部制限がある。	CとEの中間に該当する場合	具体的でなく、実現性が疑わしい。
	(2) 既存ADとの連携 ユーザー管理において、既存ADとの連携をどのように実現するか記載してください。	既存ADとの連携が可能か、またはADから出力したデータを取り込むことなどが可能か。	100	実現性があり、工夫されている。	AとCの中間に該当する場合	具体的で実現性がある程度期待できる。	CとEの中間に該当する場合	具体的でなく、実現性が疑わしい。
	(3) 本市が利用を予定しているクラウドサービス（Microsoft365）において、利用できる機能がある場合は、具体的にどの機能が利用できるか記載してください。また、利用に際し追加費用が発生する場合はその費用についても記載してください。	Microsoft365の利用できる機能の多さ、利用に際し発生する費用ができるだけ少ないこと。	50	機能と費用のバランスが取れている。		機能は少ないが、費用面で優れている。または、費用面に課題はあるが、機能は多い。		費用対効果が疑わしい。

提案書評価基準

評価項目	記述内容（要求要件）	評価の着目点	配点	評価基準				
				A	B	C	D	E
3 非機能要件の実現								
3.1 運用保守、監視、ユーザサポート								
3.1.1 運用保守、監視要件	(1)運用保守要件 モバイルアクセス環境を構成する機器やクラウドサービス全体の運用保守（運用管理、障害対応）及び監視について、貴社の考えを記載してください。	モバイルアクセス環境を構成する機器やクラウドサービス全体の運用保守（運用管理、障害対応）及び監視の考え方や体制が適正かつ具体的であること。	50	考え方や体制が具体的に示されており、優れている。	/	考え方や体制が具体的に示されており、適正である。	/	具体的でなく、実現性が疑わしい。
	(2)障害時対応 災害時も利用が想定されるシステムであることを踏まえ、サービス提供が滞る障害をなくするための仕組みや対策について具体的に記載してください。 また、障害発生時やメンテナンス時の対応の周知や連絡体制についても記載してください。	負荷や重要性に応じ、サービス提供が滞る障害がないような仕組みや対策が具体的であること。障害発生時やメンテナンス時における対応や体制が具体的であること。	50	対策や体制等が具体的に示されており、優れている。	/	対策や体制等が具体的に示されており、適正である。	/	具体的でなく、実現性が疑わしい。
3.1.2 ユーザサポート	ユーザサポートの体制を記載してください。利用者のニーズに応えるために、どのような工夫をしているか記載してください。	利用者が利用しやすい提供方法等の提案がされており、業務内容等が適正かつ具体的であること。	50	具体的なサポート体制等が示されており、利用者の負担軽減が期待できる。	/	具体的なサポート体制等が示されており、利用者の負担軽減がある程度期待できる。	/	具体的でなく、実現性が疑わしい。
3.2 セキュリティ								
3.2.1 個人情報保護対策	個人情報保護マネジメント、情報セキュリティマネジメントの内容、特に個人情報保護対策（個人情報取扱方法、監査方法など）について記載してください。	個人情報保護マネジメント、情報セキュリティマネジメントの内容、特に個人情報保護対策（個人情報取扱方法、監査方法など）が具体的であること。	50	具体的かつ適正であり、充実した内容である。	/	具体的かつ適正である。	/	具体的でない。または、適正でない。
3.2.2 セキュリティ対策	①物理的、技術的、人的にどのようなセキュリティ対策を施すかを具体的に記載してください。 ②セキュリティに対する社員教育、守秘義務の社内基準やセキュリティ監査の仕組みがあれば記載してください。 ③提案する製品について、脆弱性が発見された場合の対応を具体的に記載してください。	物理的、技術的、人的なセキュリティ対策が実施されており、セキュリティ対策が明確かつ適正であること。 脆弱性に対して、迅速に対応できる体制、枠組み等が取られていること。	150	対策や体制等は、明確である。また、脆弱性を早期に検知する体制や仕組みが整っており、迅速に対応できる。	/	対策や体制等は、明確である。また、脆弱性に対応できる体制や仕組みがある。	/	対策や体制等が明確でない。または、十分な内容でない。
3.3 構築・運用								
3.3.1 構築	円滑にサービスを開始し、運用できるよう、構築作業をどのように行うのか、構築作業内容と職員対応が必要な内容、構築作業を行う職員への支援内容を具体的に提案してください。また、モバイルアクセス環境導入初期に障害が発生することも考慮し、職員の負担の少ない構築方法や障害発生時のサポート体制について提案してください。	構築作業が具体的で、職員負担が少ないものとなっていること。	100	実現性があり、工夫されている。また、サポート体制が充実しており、職員の負担軽減が期待できる。	AとCの中間に該当する場合	実現性がある。また、サポート体制があり、職員の負担軽減がある程度期待できる。	CとEの中間に該当する場合	具体的でなく、実現性が疑わしい。または、職員の負担軽減が十分でない。
3.3.2 運用支援	円滑にサービスを開始し運用できるよう、運用業務において、管理者（職員）にどのような支援を行えるのか、具体的に提案してください。また、機構改革及び人事異動で多数の登録情報の変更等を行う際の、職員の負担を少なくする具体的な方策を記載してください。	本市管理部署職員への支援が具体的であり、職員負担が少ないこと（例 委託者が提供する機構・異動情報を元にシステムに登録できるよう受託者が加工し登録する、など）。	100	実現性があり、工夫されている。また、支援が充実しており、職員の負担軽減が期待できる。	AとCの中間に該当する場合	実現性がある。また、支援があり、職員の負担軽減がある程度期待できる。	CとEの中間に該当する場合	具体的でなく、実現性が疑わしい。または、職員の負担軽減が十分でない。

提案書評価基準

評価項目	記述内容（要求要件）	評価の着目点	配点	評価基準				
				A	B	C	D	E
3.4 拡張性と将来性								
3.4.1 拡張性と将来性	(1)規模拡大のしやすさ 利用規模を拡大する方法について記載してください。	利用規模の拡大について、今回構築した環境を維持したまま実施できるか。機器の購入や新規に構築等の作業が必要になる場合は、職員の負担が可能な限り抑えられるようになっているか。	50	委託者の要望を実現できる仕組みがあり、職員の負担軽減が期待できる。	/	委託者の要望を実現できる仕組みがある。	/	具体的でなく、実現性が疑わしい。
	(2)将来性について 今後のサービス強化や改善の予定やロードマップについて記載してください。	今後、利便性向上につながる機能（特に機能要件一覧において任意としたもの）が追加される予定があるか。それらの実現性、実装予定時期について具体的に記載されているか。	50	サービス強化や改善の頻度が高く、具体的なロードマップが明確に示されている。	/	サービス強化や改善について、具体的なロードマップが示されている。	/	具体的でなく、実現性が疑わしい。
3.5 費用								
3.5.1 利用負担の抑制	(1)将来的な利用者数（約25,000ユーザ）を見据え、構築初期（約1,000 ユーザ）及び拡大期の利用負担（ライセンス料等）についての貴社の考えについて記載してください。	導入時及び拡大期において、ライセンス費用等の負担が抑えられているか。	100	費用負担が抑制されており、実現性もある。	AとCの中間に該当する場合	費用負担の抑制がある程度期待できる。	CとEの中間に該当する場合	具体的でなく、実現性が疑わしい。
	(2)提案に対する経費の妥当性 構築期間（契約日～令和6年3月）における総経費について記載してください。	構築期間の総経費が提案に対して適正か	200	経費に対し、非常に高度な提案となっている。	/	経費に対し、十分な提案となっている。	/	提案に対し、経費が高い。
4 プロジェクトマネジメント								
4.1 プロジェクト運用								
4.1.1 実施体制	運用体制図と各部門に携わる人数（概数で構いません）について、現在の想定値を記載してください。	・実施体制が明確にされていること。 ・業務遂行に必要な責任体制（意思決定者の明確化、位置付け）となっていること。 ・構築に係る本市職員との連携が考慮されていること。	50	体制が明確であり、本市職員と円滑に連携するための工夫がされている。	/	体制が明確になっている。	/	体制に不明確な部分がある。
4.1.2 実施計画	令和5年秋の稼働を想定し、構築、試験、運用開始までの実施計画を記載してください。	・実施計画が明確にされていること。 ・構築期間及び試験期間、障害発生時のリカバリの期間等が盛り込まれていること。	50	実現性があり、早期のサービス利用が期待できる。	/	具体的で実現性がある程度期待できる。	/	具体的でなく、実現性が疑わしい。
4.2 スケジュール								
4.2.1 想定スケジュール	構築業務から運用保守業務までの全体計画スケジュールを記載してください。構築作業、テスト、運用等も含めて、何を、いつ、どのくらいの期間行うのか具体的な提案をしてください。	モバイルアクセス環境利用開始時期（令和5年秋）に合わせた、準備作業、運用等も含めた想定スケジュール及び運用期間中の全体計画について具体的な提案がされていること。	50	実施計画に沿った具体的なスケジュールとなっており、役割分担が明確である。また、実現性を高める工夫がされている。	/	実施計画に沿った具体的なスケジュールとなっており、役割分担が明確である。	/	実施計画との整合性がとれていない。または、実現性が疑わしい。
5 品質保証								
5.1 サービス品質保証								
5.1.1 SLA	提案される内容に応じたSLA（サービスレベルアグリーメント）について記載してください。	サービスレベルが十分にあり、安定したサービス提供が期待できるか。 例）・稼働率・障害発生時の平均復旧時間	50	高度なサービスレベルが担保されている。	/	十分なサービスレベルが担保されている。	/	サービスレベルが不十分である。

提案書評価基準

評価項目	記述内容（要求要件）	評価の着目点	配点	評価基準				
				A	B	C	D	E
6 企業としての取り組み								
6.1 ワーク・ライフ・バランスに関する取組	ワーク・ライフ・バランスに関する取組について、取得している認定を記載してください。	次のいずれかを取得しているか。 ①次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク、プラチナくるみんマーク） ②女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼし） ③若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール） ④よこはまグッドバランス賞	30	2件以上取得している。		1件取得している。		取得していない。
6.2 障害者雇用に関する取組	障害者雇用に関する取組として、従業員数、障害者雇用数、障害者雇用率を記載してください。	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.3%の達成をしているか。	30	達成している（従業員43.5人以上）。または、障害者を1人以上雇用している（従業員43.5人未満）。				達成していない（従業員43.5人以上）。または、障害者を1人以上雇用していない（従業員43.5人未満）。
6.3 健康経営に関する取組	健康経営に関する取組について、取得している認定を記載してください。	健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得、又は、横浜健康経営認証のAAAクラス若しくはAAクラスの認証を取得しているか。	30	健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得、又は、横浜健康経営認証クラスAAAを取得。		横浜健康経営認証クラスAAを取得。		取得していない。

## (別紙1) 機能要件一覧 (必須及び任意項目)

項番	大項目	必須/任意	小項目 (概要)	配点	評価基準				
					A	B	C	D	E
2	可用性	必須	原則として24時間365日サービスが利用可能であること	—					
3	可用性	必須	大地震等の災害時であってもサービスが利用可能であること (提案者の責によらないものを除く)	—					
4	可用性	必須	利用開始当初は約1,000ユーザが利用可能とし、将来的には約25,000ユーザが利用可能な拡張性を備えたシステムであること	—					
5	可用性	必須	PC利用において、Windows OSで動作すること (OSベンダーがサポートするバージョンに限る)	—					
5	可用性	任意	PC利用において、Mac OSで動作すること (OSベンダーがサポートするバージョンに限る)	50	MacOSで問題なく動作する。		MacOSで動作するが、制限がある。		MacOSで動作しない。
7	可用性	必須	モバイル端末において、Android、iOSで動作すること (OSベンダーがサポートするバージョンに限る)	—					
8	セキュリティ	必須	使用する端末に業務に関連する情報を保存できないよう、業務で使用する領域とその他の領域を論理的に分離し、情報の漏えいや社内ネットワークへのマルウェア感染を防止する機能がついていること	—					
9	セキュリティ	任意	不正利用につながる可能性のある行為 (画面のスクリーンショットなど) を検知する機能がついていること	50	不正利用を検出する機能を有する。		不正利用を検出する機能を有するが、制限がある。		不正利用を検出する機能がない。
10	セキュリティ	必須	デバイス認証及びユーザー認証を行い、不正アクセスを防止する機能がついていること	—					
11	セキュリティ	必須	通信には暗号化技術を用い、セキュリティを担保した通信が可能であること	—					
12	セキュリティ	必須	操作ログを記録する機能を有し、インシデントが発生した場合に即座に原因の特定と対策が実施できること	—					
13	基本機能	任意	本市が利用するクラウドサービス (Microsoft365) の機能が利用可能であること	50	全ての機能を利用できる。	AとCの中間に該当する場合	一部の機能を利用できる。	CとEの中間に該当する場合	機能を利用できない。
14	基本機能	必須	グループウェア及び職員ポータル上の主要なシステム (※) など、業務に必要な本市のシステム (住民情報系を除く) にアクセスし、その主な機能が利用可能であること ※本市の大多数の職員が利用するシステム (文書管理システムや庶務事務システム等) を想定	—					
15	基本機能	必須	職員ごとに利用可能な機能 (メニュー) を制限するなど、ポリシーが設定可能であること	—					
16	基本機能	必須	統合ファイルサーバにアクセスし、ファイルの閲覧が可能であること	—					
17	基本機能	任意	統合ファイルサーバにアクセスし、ファイルの編集が可能であること	50	ファイルの編集が可能である。	AとCの中間に該当する場合	ファイルを編集できるが、制限がある。	CとEの中間に該当する場合	ファイルを編集できない。
18	基本機能	任意	利用端末で撮影した写真や動画をローカルに保存することなく、統合ファイルサーバにアップロードが可能であること	50	写真等を端末に保存することなく、アップロードできる。		写真等を端末に保存することなく、アップロードできるが、制限がある。		写真等を端末に保存が必要。またはアップロードできない。
19	基本機能	必須	既存ADと連携してユーザー管理を実施する機能を備えていること	—					